

第14課

<目標> 簡単な指示、依頼、申し出ができる。今していることが言える。
※動詞のグループ分け、「テ形」を学ぶ課。

<練習 A の文型>

1. テ形の作り方

2. 問題を よんで ください。 ※指示
すみませんが、塩を とって ください。 ※依頼
どうぞ たくさん たべて ください。 ※勧め

[V] て ください。
(テ形)

3. てつだいしましょうか。

[V (～~~ます~~)] しましょうか。

※申し出

4. ミラーさんは 今 レポートを よんで います。

[人] は 今 [V] て います。
(テ形)

※現在進行形

<ノート>

◎動詞のグループ分け

I グループ (五段活用)

「ます」の前が「i」 例) 買います kaimasu、行きます ikimasu

II グループ (下一段活用)

「ます」の前が「e」 例) 寝ます nemasu、食べます tabemasu

★スペシャルIIグループ (上一段活用)

「ます」の前が「i」 だけどIIグループ

例) 見ます mimasu、起きます okimasu

III グループ (カ行変格活用、サ行変格活用)

「来ます」「します」「[N] +します」 例) 勉強します

◎テ形の導入

「テ形」の導入によって、「動詞のグループ分け」が発生してくる
「テ形」を教える順番は「II→III→I」

作り方

II グループ: 見ます→見て 食べます→食べて
(「ます」を取って、「て」を付ける)

III グループ: 来ます→来て します→して 勉強します→勉強して

I グループ: 歌を歌う?

① ~います、~ちます、~ります → ~って

例) 会います→会って、待ちます→待って、帰ります→帰って

② ~びます、~みます、~にます → ~んで

例) 遊びます→遊んで、飲みます→飲んで

*死にます → 死んで (39課)

③ ~きます → ~いて 例) 書きます→書いて

※例外: 行きます→行って

④ ～ぎます → ～いで 例) 泳ぎます → 泳いで

⑤ ～します → ～して 例) 話します → 話して

◎ 「[V] てください。」の用法

練習 A2: ①指示 ②依頼 ③勧め

・ 答え方を確認

指示: 名前を書いてください。…はい、わかりました。

依頼: すみませんが、塩をとってください。…はい、どうぞ。

すみませんが、この漢字の読み方を教えてください。(例文2)

…いいですよ。

勧め: どうぞ食べてください。…ありがとうございます。

◎ 申し出

練習 A3: [V (~~～ます~~)] でしょうか。

・ 形の作り方: 動詞の「ます」を取って、「でしょうか」を付ける

・ 答え方を確認

<申し出を受け入れる場合>

例文3: 窓を開けましょうか。…すみません、お願いします。

練習 B4 例1: 電気を消しましょうか。…ええ、お願いします。

<申し出を断る場合>

例文4: 駅まで迎えに行きませんか。

…タクシーで行きますから、けっこうです。

練習 B4 例2: 塩を取りませんか。…いいえ、けっこうです。

◎ 進行中を表す「～ている」

練習 A4: [人] は 今 [V] ています。

例文6、練習 B7 (6): 雨が 降っていますか。

「～ている」の意味 (金田一春彦先生)

	例	ル形	テイル形	時間の流れ
状態動詞	いる、ある	現在の状態	×	
継続動詞	食べる、読む	未来	進行中	ル形⇒テイル形 ⇒タ形
瞬間動詞	落ちる、知る	未来	動作が 終わった後の 結果の状態	ル形⇒タ形 ⇒テイル形
第4種の 動詞	曲がる、 そびえる	×	状態	※連体修飾で タ形になる

<その他>

・ 習慣/繰り返しの「～ている」(28課)

例) 毎日、図書館で勉強しています。

・ 経験の「～ている」

例) 今まで、TOEIC を2回受験しています。

◎ 新出語彙

・ 動詞がたくさん入ってくる。※導入時、一緒に使う助詞を提示。

例) 「電気をけします。」「まどをあけます。」

「喫茶店に入ります。」「喫茶店を出ます。」

・ 「～方(かた)」

※ [V (~~～ます~~)] + 方 例) 読み方、書き方、使い方

◎ 例文2: 「住所」

<会話> 「みどり町までお願いします」

・ タクシーに乗って行き方を指示する。

・ 「～までお願いします。」「あの信号を右へ曲がってください。」

「まっすぐ行ってください。」「止めてください。」「お釣り」

第15課

<目標>許可を求めたり、禁止事項を理解することができる。
身近な話題について話せる。※テ形を使った表現について学ぶ課。

<練習 A の文型>

1. 鉛筆で かいて もいいですか。

[V] て もいいですか。
(テ形)

※許可を求める表現

※答え方 (練習 B 2)

<許可する場合> 「ええ、いいですよ。どうぞ。」 (例文 1)

<許可しない場合> 「すみません、ちょっと…。」 (例文 2)

2. お酒を のんで はいけません。

[V] て はいけません。
(テ形)

※禁止の表現 (規則などで禁止されていることに限定して扱う。)

3. わたしは 京都に すんで います。

[人] は [V] て います。
(テ形)

※状態

4. わたしは IMC で はたらいて います。

[人] は [V] て います。
(テ形)

※職業・身分、習慣的行為

<ノート>

◎状態を表す「ている」

・「持っています」について

文型 2: 「サントスさんは電子辞書を持っています。」

①今、その場で手に持っている

②所有している

・「知っています」について

例文 4: 「市役所の電話番号を知っていますか。」

…はい、知っています。(テイル形)

…いいえ、知りません。(マス形の否定)

※誤用例: 「はい、知ります。」

「いいえ、知っていません。」

<会話> 「ご家族は？」

・家族構成や仕事について話す

・「思い出します。」

・「どちらに いらっしゃいますか。」

「いらっしゃいます」は、「います」の尊敬語 (49 課)

第16課

<目標>日常生活の行動を順序に沿って話せる。2つの動作の時間的な前後関係について話せる。人や場所の特徴について話せる。

<練習Aの文型>

1. あした神戸へ行って、えいがをみて、買い物します。

[V₁]て、[V₂]て、[V₃]ます。
(テ形) (テ形)

※2つ以上の動作が続いて起こるとき、起こった順に述べる。

2. うちへかえってから、晩ごはんを食べます。

[V₁]てから、[V₂]ます。
(テ形)

※2つの動作の時間的な前後関係を表す。

※「から」：次の動作への移行

3. カリナさんはせがたかいです。

文型1：大阪は食べ物がおいしいです。

[人/N]は[N]が[形容詞]です。

※「XはYがZ。」の構文

4. ミラーさんはわかくて、元気です。 ※「わかい」イ形
ハンサムで、親切です。 ※「ハンサム」ナ形
28さいで、独身です。 ※「28さい」N

[人/N]は[イ形(〜+)]くて、[形容詞]です。

[人/N]は[ナ形/N]で、[形容詞]です。

※いいです→よくて

<ノート>

◎行動を順序通りに述べる。

[V₁]て、[V₂]て、[V₃]ます。

例文1：「図書館へ行って、本を借りて、それから友達に
会いました。」

◎2つの動作の時間的な前後関係を表す。

[V₁]てから、[V₂]ます。

・9課(理由の「から」)

「きょうは子どもの誕生日ですから、早く帰ります。」

※「だから」を使って、2つの文に分けることができる。

・16課(次の動作への移行の「から」)

「コンサートが終わってから、レストランで食事しました。」

※「それから」を使って、2つの文に分けることができる。

◎①「〜て、〜て、〜ます。」と②「〜てから、〜ます。」の違い

・①は、_____ことができる。②は、_____まで。

・②は、_____後で、_____をすることを
明確に表す。

※34課「仕事が終わったあとで、飲みに行きます。」

◎「XはYがZ。」の構文

[人/N]は [N]が [形容詞]です。

練習A3：カリナさんは せが たかいです。

文型1：大阪は 食べ物が おいしいです。

※「[人/N]は [N]」の部分で「[人/N]の [N]」と
言い換えることができる。

◎練習A4の文型は、形容詞の「テ形」(?)

※「この教室は 明るくて、きれいです。」(○)

「この教室は、暗くて、きれいです。」(?)

◎練習B4

「もう～ましたか。」…「いいえ、まだです。～てから、～ます。」

※7課 練習A6：もう 荷物を おくりましたか。

…はい、もう 送りました。

…いいえ、まだです。

◎新出語彙

・「どうやって」「どの」「どれ」→例文2、例文4、例文5

・「緑」 練習B7例1：「(奈良は) 緑が多くて、静かな町です。」

・「長い」「短い」 よくある誤用例：「背が長い/短いです。」

<会話> 「使い方を教えてください」

・使い方の手順が分かる。使い方を人に説明できる。

・「お引き出し」「キャッシュカード」「暗証番号」「金額」「確認」

・「まず」「次に」(新出語彙)、「それから」(6課)

第17課

<目標> 禁止事項が理解できる。しなければならないこと、する必要のないことについて話せる。※「ナイ形」を学ぶ課。

<練習Aの文型>

1. ナイ形の作り方

2. たばこを すわな~~い~~で ください。 ※禁止事項・規則+お願い
傘を わすれ~~ない~~で ください。 ※アドバイス、相手への気遣い

[V] ないで ください。

(ナイ形)

※否定の依頼

3. 本を かえさなければ なりません。

文型2：パスポートを (見せないといけません。)

[V] なければなりません。([V] ないといけません。)

※義務、自分のノルマなど

4. 名前を かかなくとも いいです。

[V] なくともいいです。

※する必要のないこと

5. レポートは あした 書きます。

[N] は [V] ます。

※「は」：主題(トピック)

<ノート>

◎ナイ形の導入

作り方 ※教える順番は「Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ」

Ⅱグループ： 見ます→見ない 食べます→食べない
(「ます」を取って、「ない」を付ける)

Ⅲグループ： きます→きない します→しない

Ⅰグループ：「ます」の前の音が「i」→「a」になる。
「ます」を取って、「ない」を付ける。

行きます ikimasu → 行かない ikanai
話します hanashimasu → 話さない hanasanai
会います aimasu → 会わない awanai ※会あない ×

◎ [V] ないで ください。

①禁止事項、規則+お願い

文型1：「写真を撮らないでください。」

例文1：「そこに車を止めないでください。」

②アドバイス、相手への気遣い

例文2：「心配しないでください。」

問題4 2)：「この資料は大切ですから、なくさないでください。」

◎ 「てはいけません」と 「ないでください」

「てはいけません」(15課) → 禁止事項、規則

「ないでください」(17課) → 禁止事項、規則+お願い

◎ [V] なければなりません。

「本を かえさなければなりません。」

作り方：かえします→かえさない (ナイ形) →かえさなければ
(ナイ形にする→「ない」の「い」を取って、「ければ」を付ける)

※ 「ないと…。」→21課 会話

「なければいけません」→『中級へ行こう』第3課

縮約形：「なくちゃ」「なきゃ」→ 中級

※質問と答え方(練習B7)

例文4：「子どももお金を払わなければなりませんか。」

…「はい、払わなければなりません。」

…「いいえ、払わなくてもいいです。」

◎ 「までに」

例文5：「レポートはいつまでに出さなければなりませんか。」

※ 「まで」(4課)「わたしは9時から5時まで働きます。」

「まで」と「までに」の違い

・「まで」： _____ ことを表す。

・「までに」： _____ を表す。

◎ [V] なくてもいいです。

例文4：「(お金を)払わなくてもいいです。」

作り方：はらいます→はらわない (ナイ形) →はらわなくても
(ナイ形にする→「ない」の「い」を取って、「くても」を付ける)

◎ 主題(トピック)を表す「は」

・練習A5：「レポートはあした書きます。」

あしたレポートを書きます。→レポートはあした書きます。

※練習B8

◎ 新出語彙

・「ですから」

例文3：「あしたからホンコンへ出張しなければなりません。
ですから、早く帰ります。」

・「それから」

6 課 例文 4: 「日本語を勉強しました。
それから友達と映画を見ました。」

17 課 会話: 「きょうは薬を飲んで、早く寝てください。」
「それから今晚はお風呂に入らないでくださいね。」

<会話> 「どうしましたか」

- ・病院での診察で使える表現。
- ・「どうしましたか。」「のど」「お大事に。」

第 18 課

<目標> 趣味、できることについて話せる。時間的な前後関係について話せる。 ※辞書形を学ぶ課。

<練習 A の文型>

1. 辞書形の作り方

2. ミラーさんは にほんごが できます。
漢字を よむことが

[人] は [N] が できます。

[人] は [Vる] ことができます。
(辞書形)

※ 「が」

※ _____ 可能

※ 動詞の名詞化

3. ここで コピーが できます。
切符を かうことが

[人] は [N] が できます。

[人] は [Vる] ことができます。
(辞書形)

※ _____ 可能

4. わたしの 趣味は スポーツです。
動物の写真をとることです。

わたしの 趣味は [N] です。

わたしの 趣味は [Vる] ことです。
(辞書形)

5. ねる まえに、本を 読みます。
 しょくじの まえに、手を 洗います。
 5ねん まえに、日本へ 来ました。

[Vる] まえに、[V] ます。 ※文型3
 (辞書形)

[N] の まえに、[V] ます。 ※例文7
 [期間] まえに、[V] ました。 ※例文8

<ノート>

◎辞書形の導入

作り方 ※教える順番は、「Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ」

Ⅱグループ: 「ます」を取って+「る」を付ける
 例) 見ます→見る

Ⅲグループ: きます → くる、 します → する

Ⅰグループ: 「ます」を取る→「ます」の前のイ段をウ段にする
 例) 書きます kakimasu → 書く kaku

◎可能の表現 (3種類ある)

- ① Nができます (18課)
- ② Vることが出来ます → 動詞の名詞化 (18課)
- ③ 可能形 (27課)

※可能形の作り方

Ⅱグループ: 「ます」を取って+「られます」を付ける
 例) 見られます、起きられます、食べられます
 ※「ら抜きことば」に注意

Ⅲグループ: きます → こられます します → できます

Ⅰグループ: 「ます」の前のイ段をエ段にする
 例) 読みます → 読めます 書きます → 書けます

- ◎ [V₁る] まえに、[V₂] ました
 「日本へくるまえに、日本語を勉強しました。」(練習A5)
 「寝るまえに、宿題をしました。」

※時制の一致は発生しない。

日本語は文末で過去の文か非過去の文かが決まる。
 (時制については21課で詳説)

・「まえに」と「まえ」の違い

- ① 「会議のまえ/まえに、資料をコピーしてください。」
- ② 「日本へ来るまえ/まえに、国で働いていました。」
- ③ 「日本へ来るまえ/まえに、ひらがなを勉強しました。」

※ 「A まえに B」

→ _____ をしておくことを表す。

_____ を感じさせる表現。

「A まえ B」

→ _____ していたことを表す。

◎ix ページの「確認」するとは?

「[Vる] まえに、[V] ます。」の確認をしてみましょう!

⇒ 「〇〇さんは、_____ まえに、_____ ますか。」

◎新出語彙「現金」

例文4: 「カードで払うことができますか。」

「…すみませんが、現金でお願いします。」

<会話> 「趣味は何ですか」

- ・趣味に関する会話ができる。
- ・「なかなか」
- ・「ぜひ」

第19課

<目標> 経験や状況の変化について話せる。

※「タ形」を学ぶ課。

<練習Aの文型>

1. タ形の作り方

2. わたしは 沖縄へ いった ことがあります。

[V] た ことがあります。
(タ形)

※経験

3. 毎晩 テレビを みます、本を よんだり します。

[V₁] たり、[V₂] たり します。
(タ形) (タ形)

※動作の列挙

4. テレーザちゃんは せが たかく になりました。 ※イ形容詞 げんきに ※ナ形容詞 10さいに ※名詞

[イ形(〜+)] くなります。
[ナ形/N] になります。

※状況の変化

※新出語彙「なります」「だんだん」

「これからだんだん暑くなります。」(文型3)

<ノート>

◎タ形の導入 ※教える順番は、「Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ」

Ⅱグループ:「ます」を取って+「た」を付ける 例) 見~~ます~~ → 見た

Ⅲグループ: きます → きた、 します → した

Ⅰグループ:

① ~います、~ちます、~ります → ~った

② ~びます、~みます、~にます → ~んだ

③ ~きます → ~いた ※例外: 行きます → 行った

④ ~ぎます → ~いだ

⑤ ~します → ~した

◎「V た ことがあります/V た ありません」

・タ形を使って「経験」を表す。

・「V た + こと + が + ある」

・例文2: 「いいえ、一度も V た ことはありません」

◎「V₁ たり、V₂ たり します」

・動作の列挙を表す。

・「~たり、~たり」は2つだけとは限らない。

※2度目の「たり」を省かないこと。

(○) V たり V たり します (×) V たり V ます

※「V₁ たり、V₂ たり したいです」

例文4: 「旅行したり、お茶を習ったり したいです。」

◎類似文型との違い

例1)

・休みの日は 買い物をしたり、映画を見たり します。

・休みの日は 買い物をして、映画を見ます。

例2)

・朝5時に 起きたり、ジョギングしたり、朝ごはんを食べたり しました。

・朝5時に 起きて、ジョギングして、朝ごはんを食べました。

① 「V₁たり、V₂たり します。」

→ _____ 表現。

② 「[V1] て、[V2] て、[V3] ます。」

→ _____ 述べる。

2つ以上の動作が _____ に使う表現。

◎新出語彙

- ・[山に] 登ります ※格助詞「に」
- ・[ホテルに] 泊まります
- ・[部屋を] 掃除します

<会話> 「ダイエットはあしたからします」

- ・過去の経験について話す。
- ・「乾杯」
- ・「でも」